

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2022年度 第1回理事会

議 事 録

日 時：2022年10月8日（土）16：00～18：10

場 所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、荒井秀樹、安藤佳代子、夏目堅司、二星謙一、渡辺孝次、山口聖子、桜本利幸、中村実彦、東海林志朗、鹿島（吉龍）忍、狩野亮、石原勝広、小林清美、田原麗衣、井上真司、辻村和見（21名）

委任出席者：大日方邦子、岩間秀子、高浜成行（3名）

出席監事：大内智、宮田隆司（2名）

欠席者：中村勝彦、新田佳浩（2名）

オブザーバー：石井沙織、平木明二

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席25名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】

（1）2021年度各本部・委員会の事業報告について

二星：スノーボード委員会の活動内容についての説明を行った。

渡辺：ノルディック委員会の活動内容についての説明を行った。

夏目：パラアルペンチームの活動内容についての説明を行った。

東海林：IDアルペンチームの活動内容についての説明を行った。

保科：総務委員会の活動内容についての説明を行った。

鹿島：ダイバシティ委員会の活動内容についての説明を行った。

保科：大会運営委員会の活動内容についての説明を行った。

石丸：岩間理事に代わりアンチ・ドーピング委員会の活動内容についての説明を行った。

保科：医科学情報委員会のコロナ感染症対策についての活動内容の説明を行った。

中村：国際委員会としての活動は行わなかったが、IPCのFISとのガバナンス統合について連盟に資料を提供したので確認をお願いします。

保科：強化本部の活動内容についての説明を行った。

石丸：選手委員会の活動内容を資料に沿って説明した。

桜本：用具技術開発委員会の活動内容について説明を行った。

隅野：広報委員会の活動内容について説明を行った。

隅野：マーケティング委員会の活動内容について説明を行った。

安藤：普及委員会とVI-WGの活動内容について説明を行った。

議長：委員会・本部の事業報告について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(2) 2021 年度連盟決算について

鈴木：収入の部と支出の部のそれぞれについて資料に沿って説明が行われた。繰越金は北京パラや若手選手強化への支出があったため 500 万円程の減少です。

議長：2021 年度の決算について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 2022 年度連盟予算について

石丸：前回の理事会以降に 5 チームの助成金額が確定、協賛社 1 社追加、パラサポからの寄附金の追加、J-STAR の委託費等の収入の部に変更があります。

支出については、各委員会からの事業予算を予算書に反映しています。

繰越金は前年比 1400 万円増加の予算書になっています。

安藤：VI-WG で事業の追加があり、予算として 12 万円の追加をお願いします。

石丸：普及本部の追加予算を反映させた連盟予算書を総会までに作成します。

議長：2022 年度連盟予算について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) コロナ感染症対策ガイドラインの修正について

田原：方向性として選手・スタッフの検査・スクリーニングは継続する。メディアや一般の方については経過観察機関の短縮を反映させた。

保科：チーム内にコロナを持ち込まないことを前提にまとめました。

議長：ガイドラインの一部修正について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(5) 競技者登録規程と諸規程（FIS への統合による）の改定について

保科：連盟の強化事業以外で選手が国際大会に参加することを禁止することについて、弁護士に相談したところ、選手の権利を制限することになるので禁止は出来ないとの意見をもらいました。参加は認めるが選手への要請事項として追記しました。また、個人参加のルールについてのガイドラインを強化本部で作成中です。

石丸：IPC の FIS へのガバナンス統合に伴う、諸規程の表記の変更についても承認をお願いします。

議長：競技者登録規程と諸規程の改定について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(6) 大会運営委員会・アルペン委員会の委員推薦について

保科：今野さんを大会運営委員会の委員に推薦します。山形県出身でクロカンとアルペンの競技経験者です。ノルディックの大会運営を担当してもらう予定です。

石井：狩野と三澤がアルペン委員として委員会に協力してもらえらることになりました。

議長：推薦された委員について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(7) 定款の一部変更について

椎名：定款では委員長は理事の中から選出し理事会で承認となっているが、今後強化委員長を理事以外から選出することになるので、定款の第22条の「理事の中から」を削除する変更を考えています。

議長：定款の一部変更について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(8) ガバナンスコード対応 2022 年度自己説明公表について

石丸：ガバナンス対応として10月中に公表が求められています。2022年度版に更新したものを資料として配布しました。

議長：2022年度の自己説明公表について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

(9) 連盟の役員改選について

椎名：役員の改選のプロセスと今迄の選出の経緯を説明した。強化委員長はハイパフォーマンスディレクターとして報酬を受けているので、理事から外れてもらい拡大常任理事会のメンバーになってもらうように考えています。

委員会組織についても変更を考えています。国際委員会は強化本部に吸収し、用具技術開発委員会・選手委員会・アンチ・ドーピング委員会・医科学情報委員会は本部制の外に置くようにしたいと思っています。

退任理事の説明や新任理事の説明、新組織での本部長や委員長に就く理事や理事の中で常任理事に就く方々の説明を行った。

理事数は27人から19人になります。

役員案については理事会で承認を得て、定期総会で審議して決定することになります。

議長：役員改選案について、承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 監事による監査について

石丸：10月4日に大内監事と宮田監事に事務局にお越しいただき監査を実施してもらいました。

大内：財務に関する監査を実施しました。ウクライナへの寄附についての目的に沿った用途を明確にすることを指摘しました。

宮田：法人運営に関する監査を実施しました。問題はありませんでした。

(2) サプライヤー契約について

石井：タイム計測器のタイムピクス社から機材の提供を得られることになりました。アルペンとスノーボードが既に提供を受けています。

(3) 公益化についての進捗について

石丸：7月20日に内閣府へ申請しました。内閣府より指摘事項があり規程の整理や定款の変更、一般財団法人の役員変更についての指示がありました。

古市：多岐に渡る指摘があり、年内に認定を受ける見込みでしたが認定時期は年を越すものと考えています。

(4) FIS 会議について

荒井：FIS 会議に参加してきました。報告書を見て FIS の考えや動きを確認してください。

【その他】

* 定期総会の役員集合時間は 12：30 で日本財団ビル 2 階の会議室です。

* 今後の会議日程については、定期総会までに椎名会長が作成する。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2022 年 10 月 8 日

議事録署名人

議 長 椎 名 茂

議事録署名人 古 市 隆 一

議事録署名人 隅 野 礼 雄